

# 耕平さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

kouhei@oh-kouhei.org



皆さん、こんにちは。十一月になりました。早いものですねえ。寒く日が多くなりましてので、くれぐれもご自愛ください。

お釈迦様の教えを噛みしめながら、社会や人のあり方を考える「耕平さんかわら版」。先月は「無分別」「裁かない」ことの大切さ、「正邪」「善悪」を決めることの難しさを学びました。

すると「何が善悪か一概に言えない」ということは、何でも好きなようにしているってことですね」という人がいました。それは屁理屈というものです。

お釈迦様は次のような教えを残しています。曰く「諸悪莫作(しよあくまくさ)悪いことをしない」「衆善奉行(しゆぜんぶぎよう)善いことをする」。

どこの親でも子どもに言います。「悪いことをしてはいけない」「善いことをしなさい」。でもお釈迦様の「諸悪莫作」「衆善奉行」はひと

味違います。「悪いこと」を「してはいけない」のではなく「しなさい」「善いこと」を「しなさい」ではなく「する」。そうです。言われて従うのではなく、自分の意思で「悪いことをしない」「善いことをする」のです。

唐の詩人・白居易が禅僧・道林に「仏教の真髄とは何か」と訊ねました。道林曰く「悪いことをしない。善いことをする」。

「そんなことは三歳の子供でもわかる」と白居易が言うと「三歳の子供でもわかることを、八十歳の老人でもできていない」とたしなめられ、白居易が平伏したという逸話があります。

「わかる」と「できる」ことは違います。九月号の「覚る」と「解脱」の違いと同じです。何が「悪」かは、ふつうに考えればわかること。

仏教の五戒(不殺生戒、不偷盗会戒、不邪淫戒、不

妄語戒、不飲酒戒)もそのひとつ。

お釈迦様曰く「生まれを問うことなかれ。行いを問え。生まれつきの善人も悪人もいない。行うように人は作られ、行うとおりに成る」。深いですなえ。

呼吸のように、とくに意識することもなく「悪いことをしない」「善いことをする」。

「できる」ことが大切であり、「わかる」だけでは無意味です。それが仏教の真髄。

道にゴミやタバコを捨てる人、まわりに迷惑をかける人。いますねえ。

ひとりでも多く「諸悪莫作」「衆善奉行」な人が増えれば、ずいぶん心地の良い社会になるでしょう。

仏教の教えは、日常生活においても、政治においても、多くの気づきを与えてくれます。ではまた来月。

※



## 12月23日(火/祝) 開催予定

### 第11回

## 「弘法さんを語る会」

定員50名

午前の部: 10時30分(受付10時)

午後の部: 13時(受付12時30分)

会場 日泰寺西側「専修院」

今年のテーマ

### 最澄・空海後の仏教 鎌倉時代～江戸時代

～執筆者・大塚耕平がお話させていただきます～

### 参加無料

(定員50名/事前にお申し込み頂ければ幸いです)

お問い合わせ 大塚耕平事務所 TEL.052(757)1955 あさい

